令和6年度 第4回

国立研究開発法人国立国際医療研究センター 臨床研究審査委員会

日 時 : 令和6年7月8日(月)15:00~16:25

場 所 : 国立国際医療研究センター研究所地下1階中会議室

委員出欠表

区分	氏 名	出欠	役職名等	性別	専門	
委員長	放生 雅章	放生 雅章 出 国立国際医療研究センター病院 副院長				
副委員長	渡邉 裕司	出	国立大学法人浜松医科大学理事	男性	医学・医療	
副安良区	山本 圭一郎	欠	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 臨床研究センター 臨床研究統括部長	男性	生命倫理	
	石塚 正敏	出	公益財団法人がん研究振興財団専務理事	男性	医学・医療	
	渡邉 淳	出	金沢大学附属病院遺伝診療部部長特任教授	男性	医学・医療	
	中澤 栄輔	出	東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻医療倫理学分野講師	男性	生命倫理	
	中田 はる佳	出	神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション 研究科・准教授	女性	生命倫理	
	三上 礼子	出	国立成育医療研究センター臨床研究センター副臨床研 究センター長	女性	医学・医療	
	番匠 史人	出	ひふみ総合法律事務所弁護士	男性	法律	
委員	丸木 一成	出	国際医療福祉大学大学院教授	男性	一般	
	井崎 雅之	出	吉祥寺二葉栄養調理専門職学校講師	男性	一般	
	徳永 勝士	欠	国立国際医療研究センター ナショナルセンターバイオバンクネットワーク (NCBN)・中央バイオバンク長	男性	医学・医療	
	大杉 満	出	国立国際医療研究センター病院 糖尿病内分泌代科謝第三糖尿病科医長	男性	医学・医療	
	秋山 純一	欠	国立国際医療研究センター病院 消化器内科診療科(消化管担当)第一消化器内科医長	男性	医学・医療	
	杉山 文乃	出	国立看護大学校教授	女性	医学・医療	
	柳内 秀勝	出	国立国際医療研究センター国府台病院 副院長	男性	医学・医療	

議事

委員長より開催要件を満たしていることが確認された。

委員長より本日の審議内容について報告がなされた。出席の委員により審議され委員の合意に基づき判定を 行った

臨床研究審查委員会審議【令和06年07月08日(月)開催】 開催場所:研究所地下1階中会議室

審査区 分	特定• 特定以外	整理番号	新•変更	研究課題名	研究責任者 所属機関	研究責任者部署	研究責任者名	判定	委員会からの指示事項	委員の 利益相反	備考
本審査	特定	004096	美施状沉软	長時間の人工心肺で惹起される赤血球溶血に よって生じる腎障害に対するハプトグロビンの効 果についての臨床研究	その他	東京女子医科大学麻酔科学講座	長坂 安子	承認		なし	
本審査	特定	003457	実施状況報 告	5-ALA併用診査腹腔鏡による大腸癌腹膜転移 診断	戸山	病院大腸肛門外 科診療科下部消 化管外科医師	合田 良政	承認		なし	
本審査	特定	004505	美施状沉和	エムポックスと天然痘に対する経口テコビリマット 治療の有効性および安全性を検討する多施設 共同非盲検二群間比較試験	戸山	国際感染症セン ター 国際感染症 対策室	森岡 慎一郎	承認		なし	
本審査	特定	004609		エボラ出血熱の治療薬としての mAb114の有効性を探索する単群介入試験	戸山	国際感染症セン ター 国際感染症 対策室	森岡 慎一郎	承認		なし	
本審査	特定	004610	実施状況報 告	エボラ出血熱に対する REGN-EB3の有効性を探索する単群介入試験	戸山	国際感染症セン ター 国際感染症 対策室	森岡 慎一郎	承認		なし	
本審査	特定	004568		ラッサ熱の曝露後予防としてのファビピラビルの 有効性を探索的に検証する単群介入試験	戸山	国際感染症セン ター 国際感染症 対策室	森岡 慎一郎	承認		なし	
本審査	特定	004578	終了·中止報 告	エボラ出血熱に対するレムデシビルを用いた曝露後予防の有効性の評価を行うための単群介 入試験	戸山	国際感染症セン ター 国際感染症 対策室	森岡 慎一郎	承認		なし	
本審査	特定	004609	終了·中止報 告	エボラ出血熱の治療薬としての mAb114の有効 性を探索する単群介入試験	戸山	国際感染症セン ター 国際感染症 対策室	森岡 慎一郎	承認		なし	
本審査	特定	004610	終了·中止報 告	エボラ出血熱に対する REGN-EB3の有効性を探索する単群介入試験	戸山	国際感染症セン ター 国際感染症 対策室	森岡 慎一郎	承認		なし	
本審査	特定	004870	新規申請	日本における治療困難な感染症に対するバクテ リオファージ療法の実践に関する研究	戸山	病院総合感染症 科診療科総合感 染症科医長	早川 佳代子	継続審査	・ファージ療法審議委員会 の委員構成について安全性等に配慮した専門性のある委員の構成とすること。	なし	・研究責任医師は施設の管理者の実施許可取得してください。 ・研究責任医師は実施許可取得後、jRCT公開等の手続きを確認し、適切におこない、jRCT公開されたら研究支援係に報告してください。

審査区分	特定• 特定以外	整理番号	新•変更	研究課題名	研究責任者 所属機関	研究責任者部署	研究責任者名	判定	委員会からの指示事項	委員の 利益相反	備考
本審査	特定	004871	∝+13 由 = ≢	卵巣癌・卵管癌・腹膜癌患者を対象とした腫瘍減量手術時および試験開腹術時におけるアミノレブリン酸塩酸塩を用いた光線力学診断の有効性と安全性を検討する特定臨床研究		東京女子医科大 学病院 婦人科	田畑 務	継続審査	・本研究においては国立研究開発法人国立国際医療研究センター臨床研究審査委員会審議においては混合診療となるかと考えます。東京女子医大の医療担当者等の担当部署とも検討し東京女子医大としての本研究の混合診療の見解についての文書を提出すること。		・研究代表医師は施設の管理者の実施許可取得してください。 ・研究代表医師は実施許可取得後、iRCT公開等の手続きを確認し、適切におこない、iRCT公開されたら研究支援係に報告してください。・研究代表医師は臨床研究審査委員会へ提出した書類、その他実施の管理者が求める書類を各研究責任医師と共有してください。研究責任医師は各実施研究の実施の可否について、施設の管理者の承認を受ける必要があります。
本審査	特定	004878	新規申請	インヒビター非保有血友病A患者を対象としたエミシズマブ評価のための合成基質法を用いた新規凝固検査の臨床的妥当性に関する研究	その他	東京医科大学 臨 床検査医学分野	備後 真登	承認		なし	・研究代表医師は施設の管理者の 実施許可取得してください。 ・研究代表医師は実施許可取得 後、iRCT公開等の手続きを確認 し、適切におこない、iRCT公開も さい。 ・研究大援係に報告してください。 ・研究代表医師は臨床研究審査委 員会へ提出した書類、その他実施 医療機関の管理者が求める書類 を各研究責任医師は各実施医療機関における当該特定臨床研究 の実施の可否について、施設の管理者の承認を受ける必要がありま
本審査	特定	003470		難治性脈管奇形に対するシロリムス製剤の有効 性及び安全性を検討する単施設非盲検非対照 試験	戸山	小児科	望月 慎史	承認		なし	研究責任医師は施設の管理者の実施許可を取得してください。研究責任医師は実施許可取得後、jRCT公開等の手続きを確認し、適切に行い、jRCT公開されたら研究支援係に報告してください。
本審査	特定	004609		エボラ出血熱の治療薬としての mAb114の有効性を探索する単群介入試験	戸山	国際感染症セン ター 国際感染症 対策室	森岡 慎一郎	承認			研究責任医師は施設の管理者の実施許可を取得してください。研究責任医師は実施許可取得後、jRCT公開等の手続きを確認し、適切に行い、jRCT公開されたら研究支援係に報告してください。

審査区 分	特定• 特定以外	整理番号	新·変更	研究課題名	研究責任者 所属機関	研究責任者部署	研究責任者名	判定	委員会からの指示事項	委員の 利益相反	備考
本審査	特定	004610	変更申請	エボラ出血熱に対する REGN-EB3の有効性を探索する単群介入試験	戸山	国際感染症セン ター 国際感染症 対策室	森岡 慎一郎	承認		なし	・研究責任医師は施設の管理者の 実施許可取得してください。 ・研究責任医師は実施許可取得 後、JRCT公開等の手続きを確認 し、適切におこない、JRCT公開さ れたら研究支援係に報告してくだ さい。
事前確 認不要 事項	特定	004732		精密な術野のマーキングを行うための人体に安 全な顔料を用いた医療機器認証マーカーの開発	戸山	病院歯科・口腔外 科診療科歯科口 腔外科医長	丸岡 豊	-		なし	
事前確 認不要 事項	特定	004732		精密な術野のマーキングを行うための人体に安 全な顔料を用いた医療機器認証マーカーの開発	戸山	病院歯科・口腔外 科診療科歯科口 腔外科医長	丸岡 豊	ı		なし	